

登録コード	SGH02900	開講年度	2026				
授業題目	博物館資料論					担当教員	福島 正樹
英文授業名	Museum Materials					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・1時限	対象学年	2～3年
講義室	理学部第1講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	26Sカリ、25Sカリ、24Sカリ、23Sカリ						
	【2023年度以降加付対象】理学の各分野における専門知識				さまざまな博物館資料について、どうしたら収集することができるのかなどの知見を得る。		
	【2023年度以降加付対象】専門知識や観察・実験などによって問題を理解・解決し、その成果を的確に他者に伝える力				収集した博物館資料について、その資料の特性に応じた活用の仕方について考察する。		
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化、環境共生						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	注：履修登録をする際は、Lのコードで登録してください。 この授業は、他学部授業ではありません。 15回の内12回を人文系資料（美術工芸資料，考古資料，歴史資料など），3回を自然系資料（鉱物・植物・動物・地質など）などについて生きた資料として総合化する方法を学ぶ。 担当教員が学芸員の実務経験を活かして講義を行います。						
(5)授業のキーワード							
(6)授業計画	1. 福島：博物館資料とは 博物館の歴史、博物館と博物館資料の関係から考える 2. 福島：博物館資料の価値 「モノ」や「コト」更には「フィールド」が資料になる 3. 福島：博物館資料の分類 分類とは、従来の分類、新しい分類 4. 福島：博物館資料の収集・整理（1） 収集の方法 5. 福島：博物館資料の収集・整理（2） 6. 福島：博物館資料の調査研究 博物館活動の根本（受け入れ及び公開に際しての調査研究） 資料の整理 7. 福島：博物館資料活用の調査研究 展示と教育活動に関する研究 8. 福島：博物館資料の取り扱い 調査に際しての取り扱い 展示に際しての取り扱い 9. 福島：博物館資料の情報活用 資料の調査研究に伴う取り扱い、展示等に伴う取り扱い 10. 福島：博物館資料の実際（人文系博物館の資料見学） 11. 福島：博物館資料の実際（自然系博物館の資料見学） 12. 福島：博物館資料論の展望 13. 倉西：自然科学系博物館における博物館資料・試料とは 14. 倉西：自然科学系博物館での博物館資料・試料の収集について 15. 倉西：自然科学系博物館学芸員による博物館資料・試料の取り扱い実態について、授業アンケート（倉西の講義日程は別途お知らせする） ＊講義の一環として、博物館現場における研修を予定し、土日のいずれかの日（日程は別途指定）をそれに充てる予定である。交通費等の自己負担が発生することを了承願いたい。						
(7)成績評価の方法	通常講義への出席や小テスト及びレポート課題の結果により評価する。						
(8)成績評価の基準	人文系の講義については、通常講義への出席や小テストの結果にレポートを課して評価する。レポートについての評価基準は次のとおり。(1) 問題の設定が適切であり，(2) その問題の背景を説明できており，(3) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており，(4) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できており，(5) その上で自分の見解を提示できており，かつ，教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。(1) から(5)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」。評価は100点満点のうち，レポート・小テストで50点，出欠で50点。						
(9)事前事後学習の内容	大学における講義は，受講者の事前事後の学習を前提として行われる。教科書として指示された文献、講義の中で指示された参考文献について，事前事後学習として参照すること。						
(10)履修上の注意	共同開講の授業なので，15コマのうち12コマを福島が，3コマを倉西が担当する。 倉西の授業の実施日程は，4月20日（月）1限、5月18日（月）1限、6月22日（月）1限である。						

(11)質問,相談への対応	福島：講義終了後に直接質問してください。学務グループへのメモも可（次の講義で回答します） また、メールでの質問も可。アドレスは fukusima@shinshu-u.ac.jp
【教科書】	各教員の指示に従うこと。
【参考書】	・水藤真『博物館学を学ぶ - 入門からプロフェッショナルへ』（山川出版社 2007年） ・真家和生ほか編著『大学生のための博物館学芸員入門』（技報堂出版 2014年） ・君塚仁彦・名児耶明『現代に生きる博物館』（有斐閣ブックス 2012年） ・松浦啓一編著『標本学』（東海大学出版会 2014年） その他、講義の中で紹介する。